

2022 年度春 semester フィールド・スタディ シラバス  
AY2022 Spring Semester Field Study Syllabus

※プログラム名をクリックするとシラバスのページにジャンプします。

\*Click on the program title to jump to the syllabus page.

学部 College	担当教員 Supervising faculty	プログラム名 Program title	開講言語 Language	実習地 Activity site
APS	土橋 卓也	<a href="#">持続可能な地域の価値づくり: 長野県飯田市における調査</a>	J	長野県 飯田市
	山形 辰史 YAMAGATA Tatsufumi	<a href="#">障害と社会 Disability and Society</a>	J/E	大分県 別府市、日出町 Beppu City and Hiji Town, OITA
	VAFADARI M. Kazem	<a href="#">Agriculture Heritage, Tourism and Rural Development</a>	E	Kanazawa City, Noto Town and Wajima City, Suzu City, ISHIKAWA
APM	藤本 武士	<a href="#">企業調査研究プログラム (METI 選定企業西日本のケース スタディ)</a> ※2022年3月31日更新	J	広島県広島市、熊 野町、兵庫県神戸 市、大阪府大阪 市、枚方市、池田 市
	藤本 武士	<a href="#">企業調査研究プログラム (METI 選定企業東日本のケース スタディ)</a>	J	愛知県名古屋市、 西尾市、埼玉県さ いたま市、千葉県 船橋市、北海道札 幌市、苫小牧市、 帯広市

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査 (土橋 卓也)

1. Program Title プログラム名	持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査
2. Professor 担当教員	土橋 卓也
3. Activity site 実習地	長野県飯田市
4. Academic Year 開講年度	2022 年度
5. Period in which program offered. 開講時期	夏セッション
6. Subject 科目	2011 年度カリキュラム:フィールド・スタディ 2017 年度カリキュラム:環境・開発 フィールド・スタディ
7. Language 開講言語	・日本語
8. Credits 単位数	2 単位 -セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。
9. Overview プログラム概要	<p>飯田市は、1996年に「環境文化都市」を目標にし、環境と経済の好循環な町モデル事業、太陽光市民共同発電事業、日本で最初の地域環境権など様々な先進的な取り組みを展開し「環境モデル都市」に選定され、「明日の環境首都賞」を受賞した。さらに、独特な飯田市型公民館活動が住民自治を支え高いソーシャルキャピタルを醸成している。</p> <p>少子高齢化の進む中、様々な課題を抱える飯田市は、「空あかるく風にほやかなるまち、いいだ」を実践し、環境と経済の両立に向けて着実に進んでおり、「持続可能な地域づくり」を実践的に学習する大変有意義な現場である。</p> <p>現地で専門家による座学の理論学習と現場の「実践・体験」学習を融合し、また他大学の異なる分野の学生・教員との連携により Interdisciplinary なカリキュラムが構築されている。</p>
10. Objective プログラムのねらい	<p>長野県飯田市には、定住自立圏構想先行実施団体(総務省)、環境モデル都市選定(内閣府)、地域住民による人形劇フェスタをはじめとする多彩な市民文化活動、都市と地方を結ぶ飯田型ワーキングホリデー、体験教育旅行など多様な地域づくりの実績がある。これらを支える公民館活動等を土台とした独自の地域自治及び地域創生は学術的・実務的に注目されている。少子高齢化のもと、持続可能な地域社会を目指す南信州・飯田市の取り組みがどのようなものか探求する。</p> <p>さらに、地域のイベントに参加することにより、南信州の文化を体験する。他の複数の大学の学生とともに調査・研究できることもこのプログラムの特徴である。</p>

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査 (土橋 卓也)

11. Participation Fee (Approx.) 参加費 (目安)	項目	金額
	現地プログラム費※現地支払い (現地交通費、宿泊費、一部食費を含む)	30,000 円
	合計	30,000 円
<p>[上記に含まれないもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国内旅行保険</li> <li>➢ 現地までの交通費</li> <li>➢ 現地の一部食費などの雑費</li> </ul>		
12. Recommended qualifications knowledge 履修の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりに関心のある学生の参加を推奨。</li> <li>・国際学生の参加も歓迎しますが、日本語の本・資料を読み書きする能力と積極的な参加姿勢を求めます。</li> </ul>	
13. Standard of Completion 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりを理解し、各自の課題に対して問題を発見し提案をできるようになること。</li> <li>・フィールドワークによる研究方法を身に着けること。 効率的な調査計画立案 専門家講演 現地聞き取り調査 文献調査などにより自分の論点を論述する。</li> <li>・他大学の学生とのコミュニケーションを通して、多様な視点から地域づくりの課題にアプローチすること。</li> <li>・各専門の教員の指導を受け、学際的な視野を広げようになること。</li> </ul>	
14. 授業方法 Teaching Method	<p>(事前授業)</p> <p>大学での講義と参考資料によるグループ討論</p> <p>(現地調査)</p> <p>大学での専門性(講義・指導・評価)と飯田市におけるフィールドワーク(地域づくり実践者による講演・地域づくり実践者への聞き取り調査・アンケート等)また、現地イベントへ参加し地域の文化を理解する。最終日には各学生グループによる調査報告会を実施する。</p> <p><i>[Environment and Method to implement Multicultural Cooperative Learning/多文化協働学修に関する環境と手法]</i></p> <p>国際学生と国内学生が共同に参加し、さらに他大学の学生とのコミュニケーションを通して、多様な視点から地域づくりの課題にアプローチ・勉強する環境を提供する。専門の異なる大学教授による講義・指導・評価と飯田市におけるフィールドワークでの多様な調査手法で協働学習を促進する。</p>	

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査 (土橋 卓也)

15. Schedule スケジュール	[事前授業]		
	日程	時限	内容
	7月12日(火)	4 限	持続可能な地域づくりの概念及び課題学習
	7月12日(火)	5 限	南信州・飯田市の地域づくり事例と政策の予習
	7月19日(火)	4 限	フィールド調査報告書作成
	[現地での実習] (訪問先の都合により一部変更される場合があります。)		
日程	内容		
7月下旬-8月 月上旬(未定)	[飯田市オンライン事前講義] ・飯田市の概要 ・飯田における市民協働の仕組み ・地区の取り組みを重視することと、そのための行政(自治振興センターと公民館)の役割 ・飯田のまちづくりの事例紹介 ・参加者の持つ課題意識(参加動機)の共有		
8月9日(火)- 8月12日(金) ※3泊4日	[飯田市現地実習] ・まちづくりが展開される現地を訪れる(環境、雰囲気、状況を体感する) ・実践者(まちづくりの現場で活動している方々)へのヒアリング、意見交換、交流 ・参加者同士によるグループディスカッション ・発表準備と最終発表会		
[事後レポート]			
日程	時限	内容	
9月18日(日)18時 締切 manaba courseで提出		① 各自の個人調査レポート ② 現地発表 PPT の修正版	
16. 成績評価方法 Method of Grade Evaluation	5段階評価( A+, A, B, C, F) すべての事前学習・現地調査・事後学習への出席と最終レポートの提出が必要である。欠席した場合は単位認定をしない。 ・事前学習への積極的な取り組みと調査計画 30% ・現地での積極的な取り組みと調査内容の正確さ 20% ・現地最終発表会での積極的な取り組み 20% ・最終提出物 30% (各自の最終レポート 現地発表会資料)		

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査 (土橋 卓也)

17. Requirements for students. 学生への要望事項	<p>・現地実習は夏季のため、十分な体力と各自の健康管理が必要</p> <p>・事前学習の資料をよく理解し現地実習に生かし、事後学習で調査報告をまとめることが必要。</p> <p>・グループワークが基本であり、他大学の学生とも交流があるので人と積極的にコミュニケーションをとる姿勢が必要。</p> <p>・外部の多くの関係者の協力のもとに実施するプログラムのため、大人として責任と誠意ある行動が求められる。</p> <p><i>-When going abroad, it is necessary for participants to purchase an international insurance and a flight ticket designated by the university from the date of departure until the date of return to Japan. The Academic Office will contact individual students once their participation is confirmed.</i></p> <p>-海外プログラムに参加するためには、出発から帰国までの期間について、大学が指定する海外旅行保険への加入と大学指定の航空券の購入が必要です。詳細については、受講を許可された学生に対して別途に案内します。</p>
18. Textbook /教科書	なし
19. Further readings 参考文献	<p>サステイナブル地域論</p> <p>樋口一清・白井信雄著 中央経済社(2015年)</p> <p>ISBN 978 450215 6618</p>
20. Others / 上記以外	なし
21. Notes/その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集人数: 15</li> <li>最少実施人数: 5</li> <li>派遣地域安全情報:</li> </ul>

Subject / 科目	
2011 年度カリキュラム / AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ / Field Study
2017 年度カリキュラム / AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ / Field Study for Environment and Development
申請可能セメスター / Application eligibility	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。 3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
プログラム名 / Program title	障害と社会 / Disability and Society (山形辰史 / YAMAGATA Tatsufumi)

1. プログラム名 Program Title	障害と社会 / Disability and Society
2. 担当教員 Professor	山形 辰史 / YAMAGATA Tatsufumi
3. 実習地 Activity site	大分県別府市、日出町 / Beppu, Hiji, Oita Prefecture
4. 開講年度 Academic Year	2022 年度 / AY2022
5. 開講時期 Period in which program is offered	夏セッション / Summer session
6. 科目 Subject	環境・開発 フィールド・スタディ / Field Study for Environment and Development
7. 開講言語 Language	・日本語 / 英語 Japanese / English [実習で使用する場合があります/ Language you may use in activity: ]
8. 単位数 Credits	2 単位 / 2 credits ・セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。 Credits are not counted toward the maximum number of credits registerable per semester.
9. プログラム概要 Overview	<p>障害課題について体系的に学んだ後に、障がい者と共生する社会を作ろうと実践している団体や企業の取り組みについて学ぶのがこのプログラムの目的である。このプログラムを通して履修者には、自身の今後の人生において障害課題とどのように向き合うべきか、考えてほしい。</p> <p>障害は多様で、その全てを知ることはできない。だからこそ、出会った障がい者に問いかけ、彼や彼女が何を求め、何を求めているのかを確認する必要がある。そのような「まず本人に尋ねる」という姿勢もこのプログラムで体得してほしい。</p> <p>別府には、障害課題への取り組み、中でも障がい者スポーツの日本におけるパイオニアである太陽の家がある。太陽の家は 1964 年に日本にパラリンピックを招致した中村裕医師によって設立された。このプログラムでは、太陽の家の協力を得て、太陽の家それ自体やその共同出資会社、そして別府市内の独立系障害児施設を訪問し、障害課題に取り組む実体験を得る。</p> <p>The goals of this program are twofold. Firstly, students will learn by lectures the overview of disability issues. How diverse disability is? How were Persons with Disabilities (PWDs) treated in the world? How do PWDs empower themselves? How have PWDs changed the society? How painful the process of change was? How was the movement of Independent Living Movement born and diffused throughout the world? What are roles of the international community including the United Nations to address the disability issues? How do PWDs in developing countries empower themselves? Those questions will be discussed during the introduction lectures in the beginning.</p>

Subject / 科目	
2011 年度カリキュラム / AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ / Field Study
2017 年度カリキュラム / AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ / Field Study for Environment and Development
申請可能セメスター / Application eligibility	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。 3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
プログラム名 / Program title	障害と社会 / Disability and Society (山形辰史 / YAMAGATA Tatsufumi)

	<p>The core part of this program is, of course, the field visit, which is mainly organized with Japan Sun Industries (“Taiyo no Ie” in Japanese). This is one of pioneering organizations in Japan on the disability issues, in particular, introduction of sports to PWDs in Japan. Japan Sun Industries brought Paralympic to Japan in 1964. The Public Affairs Division of Japan Sun Industries helped design this field visit program. The visits include interactions between students and PWD residents of Japan Sun Industries. Then, Paralympic-like sports experiment and wheelchair experiment are contained, too. Students will visit joint ventures between Japan Sun Industries and reputed companies of Japan such as Omron, Sony, Honda and Mitsubishi.</p> <p>On top of them students will visit an organization serving for disabled children, which is initiated by a young entrepreneur, United Circle, Co., Ltd.</p> <p>Through the field visits and lectures, this instructor wishes if attending students could augment knowledge on disability, strengthen motivation to be involved in the disability issues in their own lives, and get used to be with PWDs in a frank manner.</p>								
10. Objective プログラムのねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の多様性について知る。</li> <li>・ 障がい者と共に生きるコミュニティの実例を学ぶ。</li> <li>・ 多様性を受容する社会を形成していくために自分が何をできるか考える。</li> <li>・ To know diversity among PWDs.</li> <li>・ To learn experiments made in the Oita area to live with PWDs harmoniously.</li> <li>・ To think and discuss how each attendant can do now and the future to build a PWDs-friendly society.</li> </ul>								
11. 参加費 (目安) Participation Fee (Approx.)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 / Items</th> <th style="text-align: center;">費用 / Fee</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修費 / Excursions and lectures at Japan Sun Industries</td> <td style="text-align: right;">¥1,100</td> </tr> <tr> <td>保険料 / Insurance fee</td> <td style="text-align: right;">¥1,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><b>総計 / Total</b></td> <td style="text-align: right;"><b>¥2,100</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>[上記に含まれないもの] 交通費、食費 [Fees not included] Food expenses, transportation fees</p>	項目 / Items	費用 / Fee	研修費 / Excursions and lectures at Japan Sun Industries	¥1,100	保険料 / Insurance fee	¥1,000	<b>総計 / Total</b>	<b>¥2,100</b>
項目 / Items	費用 / Fee								
研修費 / Excursions and lectures at Japan Sun Industries	¥1,100								
保険料 / Insurance fee	¥1,000								
<b>総計 / Total</b>	<b>¥2,100</b>								
12. 履修の目安 Recommended qualifications knowledge	特になし / Nothing in particular								
13. 到達目標 Standard of Completion	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害の多様性に関する深い理解</li> <li>・ 障害の社会モデルの認識</li> <li>・ 障害課題への取り組みについての理解(自立生活運動、地域に根ざしたりハビリテーション等)</li> <li>・ 大分県における障がい者との共生の取り組みについての理解</li> </ul>								

Subject / 科目	
2011 年度カリキュラム / AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ / Field Study
2017 年度カリキュラム / AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ / Field Study for Environment and Development
申請可能セメスター / Application eligibility	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。 3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
プログラム名 / Program title	障害と社会 / Disability and Society (山形辰史 / YAMAGATA Tatsufumi)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>Deep understanding of the diversity of PWDs.</li> <li>Knowledge in the social model of disability.</li> <li>Comprehensive learning of attempts to address disability issues such as Independent Living Movements and Community-Based Rehabilitation.</li> <li>Knowledge in the achievements of building societies to live with PWDs in the Oita area.</li> </ul>
14. 授業方法 Teaching Method	<p>※ 全て対面で実施します。オンラインでの受講は認められません。</p> <p><b>事前授業</b> 2022 年 7 月 23 日(土) (1~5 限)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題導入のための講義</li> <li>参加学生間の興味・関心・経験の共有(国内生・国際生間でも)</li> </ul> <p><b>実習</b> 2022 年 8 月 4 日(木)~8 月 9 日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害関連施設訪問</li> <li>社会福祉法人太陽の家(別府市亀川)訪問</li> <li>太陽の家の共同出資会社訪問 (オムロン太陽、三菱商事太陽、ソニー・太陽、ホンダ太陽)</li> <li>独立系障害児向けデイサービス施設(United Circle)訪問</li> </ul> <p><b>事後授業</b> 2022 年 8 月 9 日(火)(4~5限)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加学生間での経験の振り返りとディスカッション (日本語・英語、太陽の家において行う)</li> </ul> <p>※ All classes and activities will be conducted on a face-to-face basis. No online alternative will be provided.</p> <p><b>Pre-Activity Class at APU</b> Saturday, July 23, 2022 (1<sup>st</sup> – 5<sup>th</sup> periods)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lectures on disability study and practical disability issues.</li> <li>Workshop for all attendants to share interests and experiences each other.</li> </ul> <p><b>Field Study</b> Thursday, August 4 – Tuesday, August 9, 2022</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Visits to organizations and companies to work with PWDs. (1) Japan Sun Industries (Japan's representative organization working with PWDs located in Beppu City)</li> </ul>

Subject / 科目	
2011 年度カリキュラム / AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ / Field Study
2017 年度カリキュラム / AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ / Field Study for Environment and Development
申請可能セメスター / Application eligibility	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。 3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
プログラム名 / Program title	障害と社会 / Disability and Society (山形辰史 / YAMAGATA Tatsufumi)

	<p>(2) Joint ventures with Japan Sun Industries (Omron Electronic Components; Mitsubishi Shoji &amp; Sun Co., Ltd.; Sony / Taiyo Corporation; Honda Sun Co., Ltd.; Honda R&amp;D Sun Co., Ltd.)</p> <p>(3) An independent organization serving for disabled children (United Circle)</p> <p><b>Post-Activities Class at APU</b> Tuesday, August 9, 2022 (4<sup>th</sup> – 5<sup>th</sup> periods)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Review of companies / organizations visits. Group discussion and presentations.</li> </ul> <p><i>[Environment and Method to implement Multicultural Cooperative Learning/多文化協働学修に関する環境と手法]</i></p>																																						
15. スケジュール(暫定) Schedule (Tentative)	<p><b>※ 全て対面で実施します。オンラインでの受講は認められません。</b></p> <p><b>事前授業</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>時限</th> <th>内容</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">7/23(土)</td> <td>1-2 限</td> <td>障害学とは？医療モデルと社会モデル</td> <td rowspan="3">APU ※教室は受講決定後に連絡</td> </tr> <tr> <td>3-4 限</td> <td>障害と社会: 大分県のケース</td> </tr> <tr> <td>5 限</td> <td>ワークショップ: 障害課題と私</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>実習</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>内容</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/4(木)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>概要説明</li> <li>障害者スポーツ体験</li> <li>太陽ミュージアム視察</li> </ul> </td> <td>太陽の家 (別府市)</td> </tr> <tr> <td>8/5(金)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソニー・太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> <li>ホンダ太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> </ul> </td> <td>(日出町)</td> </tr> <tr> <td>8/6(土)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>講義: 障害者のエンパワメント - 自立生活運動</li> <li>学長とのディスカッション(障害と私)</li> <li>グループディスカッション: 障害者雇用</li> </ul> </td> <td>APU (別府市)</td> </tr> <tr> <td>8/8(月)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>(株) United Circle: ハンモック 訪問、成人障害者介護の実地体験</li> <li>(株) United Circle: アドバンス施設訪問、障害児の放課後等デイサービスの実地体験</li> </ul> </td> <td>United Circle (別府市)</td> </tr> <tr> <td>8/9(火)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>オムロン太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> <li>三菱商事太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> </ul> </td> <td>太陽の家 (別府市)</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>事後授業</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>時限</th> <th>内容</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/9(火)</td> <td>4~5限</td> <td>学生による発表: 何を得て、どう生かすか</td> <td>太陽の家 (別府市)</td> </tr> </tbody> </table>	日	時限	内容	場所	7/23(土)	1-2 限	障害学とは？医療モデルと社会モデル	APU ※教室は受講決定後に連絡	3-4 限	障害と社会: 大分県のケース	5 限	ワークショップ: 障害課題と私	日	内容	場所	8/4(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要説明</li> <li>障害者スポーツ体験</li> <li>太陽ミュージアム視察</li> </ul>	太陽の家 (別府市)	8/5(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソニー・太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> <li>ホンダ太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> </ul>	(日出町)	8/6(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義: 障害者のエンパワメント - 自立生活運動</li> <li>学長とのディスカッション(障害と私)</li> <li>グループディスカッション: 障害者雇用</li> </ul>	APU (別府市)	8/8(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株) United Circle: ハンモック 訪問、成人障害者介護の実地体験</li> <li>(株) United Circle: アドバンス施設訪問、障害児の放課後等デイサービスの実地体験</li> </ul>	United Circle (別府市)	8/9(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オムロン太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> <li>三菱商事太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> </ul>	太陽の家 (別府市)	日	時限	内容	場所	8/9(火)	4~5限	学生による発表: 何を得て、どう生かすか	太陽の家 (別府市)
日	時限	内容	場所																																				
7/23(土)	1-2 限	障害学とは？医療モデルと社会モデル	APU ※教室は受講決定後に連絡																																				
	3-4 限	障害と社会: 大分県のケース																																					
	5 限	ワークショップ: 障害課題と私																																					
日	内容	場所																																					
8/4(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要説明</li> <li>障害者スポーツ体験</li> <li>太陽ミュージアム視察</li> </ul>	太陽の家 (別府市)																																					
8/5(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソニー・太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> <li>ホンダ太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> </ul>	(日出町)																																					
8/6(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義: 障害者のエンパワメント - 自立生活運動</li> <li>学長とのディスカッション(障害と私)</li> <li>グループディスカッション: 障害者雇用</li> </ul>	APU (別府市)																																					
8/8(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株) United Circle: ハンモック 訪問、成人障害者介護の実地体験</li> <li>(株) United Circle: アドバンス施設訪問、障害児の放課後等デイサービスの実地体験</li> </ul>	United Circle (別府市)																																					
8/9(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オムロン太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> <li>三菱商事太陽 訪問 (太陽の家の共同出資会社)</li> </ul>	太陽の家 (別府市)																																					
日	時限	内容	場所																																				
8/9(火)	4~5限	学生による発表: 何を得て、どう生かすか	太陽の家 (別府市)																																				

Subject / 科目	
2011 年度カリキュラム / AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ / Field Study
2017 年度カリキュラム / AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ / Field Study for Environment and Development
申請可能セメスター / Application eligibility	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。 3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
プログラム名 / Program title	障害と社会 / Disability and Society (山形辰史 / YAMAGATA Tatsufumi)

	<p><b>※ All classes and activities will be conducted on a face-to-face basis. No online alternative will be provided.</b></p> <p><b>Pre-Activity Class at APU</b>            ※Classroom will be notified after the confirmation of the participants.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Date</th> <th>Period</th> <th>Content</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">Sat., Jul.23</td> <td>1-2</td> <td>Disability Study: Its medical model and social model</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>Disability and Society: Cases in Oita Prefecture</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Workshop: My experiences with disability</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>Field Study</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Date</th> <th>Content</th> <th>Venue</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Thu., Aug.4</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Overview</li> <li>Participation in sports for PWDs</li> <li>Visit to Taiyo Museum</li> </ul> </td> <td>Japan Sun Industries (Beppu)</td> </tr> <tr> <td>Fri., Aug.5</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to Sony / Taiyo Corporation</li> <li>Visit to Honda Sun Co., Ltd. (Both are joint ventures with Japan Sun Industries)</li> </ul> </td> <td>(Hiji)</td> </tr> <tr> <td>Sat., Aug.6</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture: Empowerment of PWDs by Employment</li> <li>Discussion with President Deguchi (Disability and I)</li> <li>Group Discussion</li> </ul> </td> <td>APU (Beppu)</td> </tr> <tr> <td>Mon., Aug.8</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to United Circle – Hammock</li> <li>Experiments of caregiving for disabled adults.</li> <li>Visit to United Circle – Advance</li> <li>Experiments of daycare service for disabled children</li> </ul> </td> <td>Japan Sun Industries (Beppu)</td> </tr> <tr> <td>Tue., Aug.9</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to Omron Electronic Components</li> <li>Visit to Mitsubishi Shoji &amp; Sun Co., Ltd. (Both are co-parent companies of Japan Sun Industries)</li> </ul> </td> <td>Japan Sun Industries (Beppu)</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>Post-Activity Class</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Date</th> <th>Period</th> <th>Content</th> <th>Venue</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tue., Aug.9</td> <td>4-5</td> <td>Student presentations: What did you learn and how do you apply it?</td> <td>Japan Sun Industries (Beppu)</td> </tr> </tbody> </table>	Date	Period	Content	Sat., Jul.23	1-2	Disability Study: Its medical model and social model	3-4	Disability and Society: Cases in Oita Prefecture	5	Workshop: My experiences with disability	Date	Content	Venue	Thu., Aug.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Overview</li> <li>Participation in sports for PWDs</li> <li>Visit to Taiyo Museum</li> </ul>	Japan Sun Industries (Beppu)	Fri., Aug.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to Sony / Taiyo Corporation</li> <li>Visit to Honda Sun Co., Ltd. (Both are joint ventures with Japan Sun Industries)</li> </ul>	(Hiji)	Sat., Aug.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture: Empowerment of PWDs by Employment</li> <li>Discussion with President Deguchi (Disability and I)</li> <li>Group Discussion</li> </ul>	APU (Beppu)	Mon., Aug.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to United Circle – Hammock</li> <li>Experiments of caregiving for disabled adults.</li> <li>Visit to United Circle – Advance</li> <li>Experiments of daycare service for disabled children</li> </ul>	Japan Sun Industries (Beppu)	Tue., Aug.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to Omron Electronic Components</li> <li>Visit to Mitsubishi Shoji &amp; Sun Co., Ltd. (Both are co-parent companies of Japan Sun Industries)</li> </ul>	Japan Sun Industries (Beppu)	Date	Period	Content	Venue	Tue., Aug.9	4-5	Student presentations: What did you learn and how do you apply it?	Japan Sun Industries (Beppu)
	Date	Period	Content																																		
	Sat., Jul.23	1-2	Disability Study: Its medical model and social model																																		
		3-4	Disability and Society: Cases in Oita Prefecture																																		
		5	Workshop: My experiences with disability																																		
	Date	Content	Venue																																		
	Thu., Aug.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Overview</li> <li>Participation in sports for PWDs</li> <li>Visit to Taiyo Museum</li> </ul>	Japan Sun Industries (Beppu)																																		
	Fri., Aug.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to Sony / Taiyo Corporation</li> <li>Visit to Honda Sun Co., Ltd. (Both are joint ventures with Japan Sun Industries)</li> </ul>	(Hiji)																																		
	Sat., Aug.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture: Empowerment of PWDs by Employment</li> <li>Discussion with President Deguchi (Disability and I)</li> <li>Group Discussion</li> </ul>	APU (Beppu)																																		
	Mon., Aug.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to United Circle – Hammock</li> <li>Experiments of caregiving for disabled adults.</li> <li>Visit to United Circle – Advance</li> <li>Experiments of daycare service for disabled children</li> </ul>	Japan Sun Industries (Beppu)																																		
Tue., Aug.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit to Omron Electronic Components</li> <li>Visit to Mitsubishi Shoji &amp; Sun Co., Ltd. (Both are co-parent companies of Japan Sun Industries)</li> </ul>	Japan Sun Industries (Beppu)																																			
Date	Period	Content	Venue																																		
Tue., Aug.9	4-5	Student presentations: What did you learn and how do you apply it?	Japan Sun Industries (Beppu)																																		
16. 成績評価方法 Method of Grade Evaluation	<p>A+, A, B, C, F の 5 段階評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーション (50%)</li> <li>レポート (50%) 日本語 3000 字程度;英語 1000 字程度、8 月 20 日締切)</li> </ul>																																				

Subject / 科目	
2011 年度カリキュラム / AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ / Field Study
2017 年度カリキュラム / AY2017 Curriculum	環境・開発 フィールド・スタディ / Field Study for Environment and Development
申請可能セメスター / Application eligibility	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。 3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
プログラム名 / Program title	障害と社会 / Disability and Society (山形辰史 / YAMAGATA Tatsufumi)

	5-level letter grade scale: A+, A, B, C and F <ul style="list-style-type: none"> <li>• Presentation 50%</li> <li>• Report 50% (Around 1000 words in English, 3000 characters in Japanese. Due date is August 20)</li> </ul>
17. 学生への要望事項 Requirements for students	特になし / Nothing in particular
18. 教科書 Textbook	特になし / No textbook is used.
19. 参考文献 Further readings	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Michael Oliver and Colin Barnes, <i>The New Politics of Disablement</i>, Macmillan, 2012 (三島亜紀子・山岸倫子・山森亮・横須賀俊司訳『障害の政治』[第1版]明石書店、2006 年)</li> <li>• Soya Mori, Celia M. Reyes and Tatsufumi Yamagata eds., <i>Poverty Reduction of the Disabled</i>, Routledge, 2015.</li> <li>• 杉野昭博『障害学』東京大学出版会、2007 年</li> <li>• 小川喜道・杉野昭博編『よくわかる障害学』ミネルヴァ書房、2014 年</li> <li>• 森壮也・山形辰史『障害と開発の実証分析』勁草書房、2013 年</li> </ul>
20. 上記以外 Others	
21. その他 Notes	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 募集人数: 15</li> <li>• 最少実施人数: 5</li> <li>• 派遣地域安全情報: レベル 0</li> <li>• Max. no. of students required: 30</li> <li>• Min. no. of students: 5</li> <li>• Risk level: Level 0</li> </ul>

Subject	
AY2011 Curriculum	Field Study
AY2017 Curriculum	Field Study for Hospitality and Tourism
Application eligibility	3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
Program title	Agriculture Heritage, Tourism and Rural Development (VAFADARI M. Kazem)

1. プログラム名 Program Title	Agriculture Heritage, Tourism and Rural Development	
2. 担当教員 Professor	VAFADARI M. Kazem	
3. 実習地 Activity site	Kanazawa-city, Noto-town, Wajima-city and Suzu-city, Ishikawa Prefecture	
4. 開講年度 Academic Year	AY2022	
5. 開講時期 Period in which program is offered	July 6 – August 31, 2022	
6. 科目 Subject	Field Study for Hospitality and Tourism	
7. 開講言語 Language	English [Language you may use in activity] Japanese	
8. 単位数 Credits	2 -Credits are not counted toward the maximum number of credits registerable per semester.	
9. プログラム概要 Overview	Japanese traditional agricultural landscape has been facing a lot of problem such as depopulation and aging society. This field study focuses on the initiatives of local community and government in Noto Peninsula to conserve the environment and traditional knowledge and to revitalize local communities through agriculture and tourism.	
10. Objective プログラムのねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ To explore the concept of ‘Satoyama’ and ‘Satoumi’</li> <li>・ To understand the problems facing with traditional agriculture landscape in Japan</li> <li>・ To study the initiatives of local people to solve their problem</li> <li>・ To discuss how increase resiliency unsustainability in local community level and in traditional lifestyle</li> <li>・ To understand the role of United Nations Food and Agriculture organizations initiative of globally important agriculture heritage in conservation of natural resources and traditional agriculture</li> <li>・ To share lessons learned from this case study with other countries facing similar problems and to bring feedback from literature review for local communities in and Noto Peninsula</li> <li>・ To study destination branding and marketing through traditional agriculture and experience design</li> </ul>	
11. 参加費 (目安) Participation Fee (Approx.)	<b>Items</b>	<b>Fee</b>
	Program Participation Fee	¥126,000
	Insurance fee	¥1,300
	<b>Total</b>	<b>¥127,300</b>
	<p>[Fees not included]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Food expenses</li> <li>➤ Round-trip transportation to the local meeting place</li> </ul>	
12. 履修の目安 Recommended qualifications knowledge	Knowledge of Japanese conversation and communication is recommended however English based students also can participate in this field study.	

Subject	
AY2011 Curriculum	Field Study
AY2017 Curriculum	Field Study for Hospitality and Tourism
Application eligibility	3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
Program title	Agriculture Heritage, Tourism and Rural Development (VAFADARI M. Kazem)

13. 到達目標 Standard of Completion	<ul style="list-style-type: none"> <li>Students should participate actively in classes before and after the field of study.</li> <li>Collaboration and teamwork is a constant part of this field study and students should be willing to work as a responsible member of the team.</li> <li>This field study requires to communicate with local community and local authorities and accordingly all participants are required to act along with the principles of fill this study conduct and research ethics.</li> </ul>																													
14. 授業方法 Teaching Method	<p><b>※ Pre and Post-activity classes will be conducted online, while on-site activity (field study) will be conducted on a face-to-face basis.</b></p> <p><b>※ When dispatch to the activity site is cancelled, online alternative will be provided.</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Pre-activity class; workshops and group activities, to be conducted online in order to prepare for the on-site activity.</li> <li>Traveling to Noto Peninsula, through direct observation and interviewing people in the field</li> <li>Report writing and exams if necessary</li> </ul>																													
15. スケジュール(暫定) Schedule (Tentative)	<p><b>Pre-Activity Class at APU</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Date</th> <th>Period</th> <th>Content</th> <th>Venue</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Wed., Jul.6</td> <td>1<sup>st</sup></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Noto's position in Ishikawa culture and economy</li> <li>Virtual visit to Ishikawa, and explore the potentials of GIAHS development, workshop activity</li> </ul> </td> <td>Online</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>Field Study</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Date</th> <th>Content</th> <th>Venue</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Mon., Aug.22</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “GIAHS governance and Local Development Planning based on GIAHS”</li> <li>Gather pamphlets and information from Prefectural office</li> <li>Visit GIAHS section (Satoyama Satoumi Promotion Office), Dept. Agriculture and Fishery, Ishikawa Prefectural Office</li> <li>Interview local experts form Kanazawa about GIAHS</li> </ul> </td> <td>Kanazawa city</td> </tr> <tr> <td>Tue., Aug.23</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Introduction to History of Biodiversity and GIAHS Movement in Noto and Ishikawa Prefecture”</li> <li>Satoyama Activity with Shun Ran people in farmland and forest area</li> </ul> </td> <td>Noto Town (Shun Ran)</td> </tr> <tr> <td>Wed., Aug.24</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Forest Tourism, Branding and Resource Management : Case of Shun Ran no Sato</li> <li>Interview local community about the livelihood</li> </ul> </td> <td>Noto Town (Shun Ran)</td> </tr> <tr> <td>Thu., Aug.25</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Visit important spots in Wajima (Senmaida / Local market / Wajima lacquaware, etc)</li> </ul> </td> <td>Wajima city</td> </tr> <tr> <td>Fri., Aug.26</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Visit Important spots in Wajima (Senmaida / Local market / Wajima lacquaware, etc)</li> </ul> </td> <td>Wajima city</td> </tr> <tr> <td>Sat., Aug.27</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Rural population and Revitalization Plan</li> </ul> </td> <td>Suzu city</td> </tr> </tbody> </table>	Date	Period	Content	Venue	Wed., Jul.6	1 <sup>st</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Noto's position in Ishikawa culture and economy</li> <li>Virtual visit to Ishikawa, and explore the potentials of GIAHS development, workshop activity</li> </ul>	Online	Date	Content	Venue	Mon., Aug.22	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “GIAHS governance and Local Development Planning based on GIAHS”</li> <li>Gather pamphlets and information from Prefectural office</li> <li>Visit GIAHS section (Satoyama Satoumi Promotion Office), Dept. Agriculture and Fishery, Ishikawa Prefectural Office</li> <li>Interview local experts form Kanazawa about GIAHS</li> </ul>	Kanazawa city	Tue., Aug.23	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Introduction to History of Biodiversity and GIAHS Movement in Noto and Ishikawa Prefecture”</li> <li>Satoyama Activity with Shun Ran people in farmland and forest area</li> </ul>	Noto Town (Shun Ran)	Wed., Aug.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Forest Tourism, Branding and Resource Management : Case of Shun Ran no Sato</li> <li>Interview local community about the livelihood</li> </ul>	Noto Town (Shun Ran)	Thu., Aug.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit important spots in Wajima (Senmaida / Local market / Wajima lacquaware, etc)</li> </ul>	Wajima city	Fri., Aug.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit Important spots in Wajima (Senmaida / Local market / Wajima lacquaware, etc)</li> </ul>	Wajima city	Sat., Aug.27	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Rural population and Revitalization Plan</li> </ul>	Suzu city
Date	Period	Content	Venue																											
Wed., Jul.6	1 <sup>st</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Noto's position in Ishikawa culture and economy</li> <li>Virtual visit to Ishikawa, and explore the potentials of GIAHS development, workshop activity</li> </ul>	Online																											
Date	Content	Venue																												
Mon., Aug.22	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “GIAHS governance and Local Development Planning based on GIAHS”</li> <li>Gather pamphlets and information from Prefectural office</li> <li>Visit GIAHS section (Satoyama Satoumi Promotion Office), Dept. Agriculture and Fishery, Ishikawa Prefectural Office</li> <li>Interview local experts form Kanazawa about GIAHS</li> </ul>	Kanazawa city																												
Tue., Aug.23	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Introduction to History of Biodiversity and GIAHS Movement in Noto and Ishikawa Prefecture”</li> <li>Satoyama Activity with Shun Ran people in farmland and forest area</li> </ul>	Noto Town (Shun Ran)																												
Wed., Aug.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Forest Tourism, Branding and Resource Management : Case of Shun Ran no Sato</li> <li>Interview local community about the livelihood</li> </ul>	Noto Town (Shun Ran)																												
Thu., Aug.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit important spots in Wajima (Senmaida / Local market / Wajima lacquaware, etc)</li> </ul>	Wajima city																												
Fri., Aug.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>Visit Important spots in Wajima (Senmaida / Local market / Wajima lacquaware, etc)</li> </ul>	Wajima city																												
Sat., Aug.27	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Rural population and Revitalization Plan</li> </ul>	Suzu city																												

Subject	
AY2011 Curriculum	Field Study
AY2017 Curriculum	Field Study for Hospitality and Tourism
Application eligibility	3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
Program title	Agriculture Heritage, Tourism and Rural Development (VAFADARI M. Kazem)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>Interview to the staffs, graduates and trainees of Noto Satoyama Satoumi Meister Training (Observation of past poster presentations and read past graduation thesis etc.)</li> </ul>								
	Sun., Aug.28	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lecture on “Value added products of Agri-heritage in Noto: Local Products of Noto such as Experience Economy, Sea Salt, Tea Ceremony, Charcoal, Wajima nori, Fisheries product etc.</li> <li>Visit important spots in Suzu and interview to Mayor and other people</li> </ul>	Suzu City or Noto Town (Marine Labo. Kanazawa Univ.)							
	Mon., Aug.29	<ul style="list-style-type: none"> <li>Summary “Noto GIAHS Branding and Development”</li> </ul>	Kanazawa City							
	<p><b>Post-Activity Class</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Date</th> <th>Period</th> <th>Content</th> <th>Venue</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Wed., Aug.31</td> <td>1<sup>st</sup>-2<sup>nd</sup></td> <td>Conclusion</td> <td>Online</td> </tr> </tbody> </table>			Date	Period	Content	Venue	Wed., Aug.31	1 <sup>st</sup> -2 <sup>nd</sup>	Conclusion
Date	Period	Content	Venue							
Wed., Aug.31	1 <sup>st</sup> -2 <sup>nd</sup>	Conclusion	Online							
16. 成績評価方法 Method of Grade Evaluation	5-level letter grade scale: A+, A, B, C and F <ul style="list-style-type: none"> <li>Assignment and active participation 30%</li> <li>Field Study conduct: 30%</li> <li>Final report: 40%</li> </ul>									
17. 学生への要望事項 Requirements for students	Basic Japanese language ability is highly recommended.									
18. 教科書 Textbook	Reading materials will be distributed during the course									
19. 参考文献 Further readings	<p>Chen, B., Qiu, Z., &amp; Nakamura, K. (2016). Tourist preferences for agricultural landscapes: A case study of terraced paddy fields in Noto Peninsula, Japan. <i>Journal of Mountain Science</i>, 13(10), 1880–1892. doi:10.1007/s11629-015-3564-0</p> <p>Fleischer, A., &amp; Tchetchik, A. (2005). Does rural tourism benefit from agriculture? <i>Tourism Management</i>, 26(4), 493–501. doi:10.1016/J.TOURMAN.2003.10.003</p> <p>Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). <i>Agricultural heritage around the world</i>. Retrieved October 27, 2021, from <a href="https://www.fao.org/giahs/giahsaroundtheworld/en/">https://www.fao.org/giahs/giahsaroundtheworld/en/</a></p> <p>Food and Agriculture Organization of the United Nations. (n.d.). <i>Selection Criteria and Action Plan</i>. Retrieved October 27, 2021, from <a href="https://www.fao.org/giahs/become-a-giahs/selection-criteria-and-action-plan/en/">https://www.fao.org/giahs/become-a-giahs/selection-criteria-and-action-plan/en/</a></p> <p>Koohafkan, P., &amp; Altieri, M. A. (2017). <i>Forgotten agricultural heritage: Reconnecting food systems and sustainable development</i>. London: Routledge.</p> <p>Mao, N., Grunfeld, H., DeLacy, T., &amp; Chandler, D. (2014). Agriculture and tourism linkage constraints in the Siem Reap-Angkor region of Cambodia. <i>Tourism Geographies</i>, 16(4), 669–686. doi:10.1080/14616688.2014.915878</p> <p>Rogerson, C. M. (2012). Tourism–agriculture linkages in rural South Africa: Evidence from the accommodation sector. <i>Journal of Sustainable Tourism</i>, 20(3), 477–495. doi:10.1080/09669582.2011.617825</p> <p>Sun, Y., Timothy, D. J., Wang, Y., Min, Q., &amp; Su, Y. (2019). Reflections on agricultural heritage systems and tourism in China. <i>Journal of</i></p>									

Subject	
AY2011 Curriculum	Field Study
AY2017 Curriculum	Field Study for Hospitality and Tourism
Application eligibility	3 <sup>rd</sup> -7 <sup>th</sup> semester (as of AY2022 Spring semester) *Pls. refer to Application Info for details.
Program title	Agriculture Heritage, Tourism and Rural Development (VAFADARI M. Kazem)

	<p><i>China Tourism Research</i>, 15(3), 359–378. doi:10.1080/19388160.2019.1578713</p> <p>Telfer, D. J., &amp; Wall, G. (2000). Strengthening backward economic linkages: Local food purchasing by three Indonesian hotels. <i>Tourism Geographies</i>, 2(4), 421–447. doi:10.1080/146166800750035521</p> <p>Tian, M., Min, Q., Jiao, W., Yuan, Z., Fuller, A. M., Yang, L., Cheng, B. (2016). Agricultural heritage systems tourism: Definition, characteristics and development framework. <i>Journal of Mountain Science</i>, 13(3), 440–454. doi:10.1007/S11629-015-3724-2</p> <p>Torres, R. M., &amp; Momsen, J. H. (2011). <i>Tourism and agriculture: New geographies of consumption, production and rural restructuring</i>. London: Routledge.</p> <p>Vafadari, K. (2013). Planning sustainable tourism for agricultural heritage landscapes. <i>Ritsumeikan Journal of Asia Pacific Studies</i>, 32, 75–89.</p> <p>Wu, T. (2018). Agriculture tourism and the transformation of rural countryside. <i>Tourism Geographies</i>, 20(2), 354–357. doi:10.1080/14616688.2018.1434819</p> <p>Yotsumoto, Y., &amp; Vafadari, K. (2021). Comparing cultural world heritage sites and globally important agricultural heritage systems and their potential for tourism. <i>Journal of Heritage Tourism</i>, 16(1), 43–61. doi:10.1080/1743873X.2020.1758116</p>
20.上記以外 Others	
21.その他 Notes	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Max. no. of students: 15</li> <li>• Min. no. of students: 5</li> <li>• Risk Level: 0</li> </ul>

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	APMフィールド・スタディ
申請可能 Semester	3-7 Semester (2022年度春 Semester 時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	企業調査研究プログラム (METI 選定企業 西日本のケーススタディ) (藤本武士)

1. Program Title プログラム名	企業調査研究プログラム(METI 選定企業 西日本のケーススタディ)									
2. Professor 担当教員	藤本武士									
3. Activity site 実習地	広島県広島市、熊野町 兵庫県神戸市、 大阪府大阪市、枚方市、池田市									
4. Academic Year 開講年度	2022 年度									
5. Period in which program is offered. 開講時期	2022 年 8 月～9 月									
6. Subject 科目	APM フィールド・スタディ									
7. Language 開講言語	・日本語  [Language you may use in activity / 実習で使用する場合があります]									
8. Credits 単位数	2 単位 Semester の登録可能単位数の上限に含まれません。									
9. Overview プログラム概要	本プログラムは、日本経済と国際経営を、各地域の経済圏の特徴から理解し、各地域経済圏の産業の特徴から代表する国際的企業の経営について学ぶ。									
10. Objective プログラムのねらい	本プログラムのねらいは、地域の経済と企業の経営を理解することで、グローバルな経済と経営を事例から学ぶ。そして、ローカルとグローバルの関係を、各経済圏での企業がどのような状況で経営をおこなってきた、現在行っているのかを、仮説と検証のプロセスをプログラムを通じて実施する。それにより、国地域の違いに関心ある本学学生にとって、国地域の橋渡しとなるグローバルな経営を、現在の環境問題や SDGs の観点からも経済活動として実践する企業の経営についての学びにつなげる。									
11. Participation Fee (Approx.) 参加費 (目安)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託費</td> <td style="text-align: right;">¥6,000 (最大)</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td style="text-align: right;">¥1,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><b>総計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>¥7,000</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>[上記に含まれないもの] 交通費、宿泊費、現地タクシー代(3,000 円程度)、食費、その他雑費</p> <p>※本プログラムは、県をまたぐ移動が発生します。 合格発表後、担当教員より全行程の移動経路・日時詳細が提示されるため、各自で新幹線や宿泊施設などの手配を行ってください。 ※委託費は、受講人数によっては低くなる可能性があります。</p>		項目	費用	委託費	¥6,000 (最大)	保険料	¥1,000	<b>総計</b>	<b>¥7,000</b>
項目	費用									
委託費	¥6,000 (最大)									
保険料	¥1,000									
<b>総計</b>	<b>¥7,000</b>									

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	APMフィールド・スタディ
申請可能 Semester	3-7 Semester (2022年度春 Semester 時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	企業調査研究プログラム (METI 選定企業 西日本のケーススタディ) (藤本武士)

12. Recommended qualifications knowledge 履修の目安	特になし											
13. Standard of Completion 到達目標	このコースを受講することで次の三つの理解に到達します。 ① 各地域経済圏の社会的文化的や産業構造を理解できる ② グローバル化の意義とそのインパクトを理解できる ③ 各国地域の対象市場での政治的・法的・経済的・社会的環境要因における共通項や相違点を理解できる。											
14. 授業方法 Teaching Method	ローカル経済とグローバル経済との関係が、各経済圏でどのような特徴を持つのか、どのような経済状況の中で企業の経営がされているのかを RESAS とデジタルライブラリーのデータベースを使って事前調査する。 得られた情報を元にして訪問する企業の過去の V 字回復できた当時の状況や、現在置かれている状況や課題についても議論しグループで仮説を立てる。 実際に経済産業省経済産業局や企業を訪問しヒアリングから仮説を検証する。 訪問企業は、経済産業省から各種受賞選定された企業を中心に訪問ヒアリング調査を行う。例えば、海外売上高が 5%以上のグローバルニッチトップ (Global Niche Top: GNT) 企業やダイバーシティ経営企業・地域未来牽引企業などの優良企業を扱う。 訪問先企業は、日本の経済を理解する上で、今回は広島・神戸・大阪の経済圏から教員が選択し、ローカル経済とグローバル市場との関係や、対象企業の経営についてヒアリングを通して現在の経済と経営を関連づける。 企業にとって国地域の違う対象市場の顧客や競合他社におけるテーマがグループ素材となるため、それぞれのグループに学生の言語基準や回生が分散するようにグループ分けを行う。											
15. Schedule スケジュール	<p><b>※ 全て対面で実施します。オンラインでの受講は認められません。</b></p> <p>※但し、派遣が中止になった場合はオンライン代替プログラムを実施します。</p> <p>※ 事前授業は、同教員が担当する「企業調査研究プログラム (METI 選定企業 東日本のケーススタディ)」と合同で実施されます。</p> <p><b>事前授業</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>時限</th> <th>内容</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/29(月)</td> <td>2-5 限</td> <td>各地域経済産業の事前授業</td> <td rowspan="2">APU</td> </tr> <tr> <td>8/30(火)</td> <td>2-5 限</td> <td>各地域経済産業の事前授業・各企業の事前授業</td> </tr> </tbody> </table>	日	時限	内容	場所	8/29(月)	2-5 限	各地域経済産業の事前授業	APU	8/30(火)	2-5 限	各地域経済産業の事前授業・各企業の事前授業
日	時限	内容	場所									
8/29(月)	2-5 限	各地域経済産業の事前授業	APU									
8/30(火)	2-5 限	各地域経済産業の事前授業・各企業の事前授業										

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	APMフィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7セメスター(2022年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	企業調査研究プログラム (METI 選定企業 西日本のケーススタディ) (藤本武士)

	8/31(水)	2-5 限	各企業の事前授業・質問項目の作成・送付	※教室は受講決定後に連絡	
	<b>実習</b>				
		<b>日</b>	<b>内容</b>	<b>場所</b>	
	9/12(月)		・ 中国経済産業局 訪問&ヒアリング調査	広島県(広島市)	
			・ 株式会社白鳳堂 訪問&ヒアリング調査	広島県(熊野町)	
	9/13(火)		・ 近畿経済産業局 訪問&ヒアリング調査	大阪府(大阪市)	
			・ 日本テクノロジーソリューション株式会社 訪問&ヒアリング調査	兵庫県(神戸市)	
	9/14(水)		・ 株式会社福井製作所 訪問&ヒアリング調査	大阪府(枚方市)	
			・ 日清食品株式会社 ラーメン記念館 見学	大阪府(池田市)	
	<b>事後授業</b>				
	<b>日</b>	<b>時限</b>	<b>内容</b>	<b>場所</b>	
	9/15(木)	2-4 限	最終プレゼンテーション	立命館大学 大阪 いばらきキャンパス (2022/3/31 赤字部分修正)	
16. 成績評価方法 Method of Grade Evaluation	5段階評価(A+, A, B, C, F) ・参加・貢献度:20% ・個人レポート:40% ・最終グループプレゼンテーション:40%				
17. Requirements for students. 学生への要望事項	特になし				
18. Textbook /教科書	特になし				
19. Further readings 参考文献	事前授業で配布する				
20. Others / 上記以外	特になし				

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	APMフィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	企業調査研究プログラム (METI 選定企業 西日本のケーススタディ) (藤本武士)

21. Notes/その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 募集人数: 15</li> <li>• 最少実施人数: 5</li> <li>• 派遣地域安全情報: 0</li> </ul>
---------------	--

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	APM フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	企業調査研究プログラム (METI 選定企業 東日本のケーススタディ) (藤本武士)

1. Program Title プログラム名	企業調査研究プログラム(METI 選定企業 <b>東</b> 日本のケーススタディ)									
2. Professor 担当教員	藤本武士									
3. Activity site 実習地	愛知県名古屋市、西尾市、 埼玉県さいたま市、 千葉県船橋市、 北海道札幌市、苫小牧市、帯広市									
4. Academic Year 開講年度	2022 年度									
5. Period in which program is offered. 開講時期	2022 年 8 月～9 月									
6. Subject 科目	APM フィールド・スタディ									
7. Language 開講言語	・日本語  [Language you may use in activity / 実習で使用する場合があります]									
8. Credits 単位数	2 単位 セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。									
9. Overview プログラム概要	本プログラムは、日本経済と国際経営を、各地域の経済圏の特徴から理解し、各地域経済圏の産業の特徴から代表する国際的企業の経営について学ぶ。									
10. Objective プログラムのねらい	本プログラムのねらいは、地域の経済と企業の経営を理解することで、グローバルな経済と経営を事例から学ぶ。そして、ローカルとグローバルの関係を、各経済圏での企業がどのような状況で経営をおこなってきた、現在行っているのかを、仮説と検証のプロセスをプログラムを通じて実施する。それにより、国地域の違いに関心ある本学学生にとって、国地域の橋渡しとなるグローバルな経営を、現在の環境問題や SDGs の観点からも経済活動として実践する企業の経営についての学びにつなげる。									
11. Participation Fee (Approx.) 参加費 (目安)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託費</td> <td style="text-align: right;">¥8,000 (最大)</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td style="text-align: right;">¥1,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><b>総計</b></td> <td style="text-align: right;"><b>¥9,000</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>[上記に含まれないもの] 交通費、宿泊費、現地タクシー代(14,600 円程度)、食費、その他雑費</p> <p>※本プログラムは、県をまたぐ移動が発生します。 合格発表後、担当教員より全行程の移動経路・日時詳細が提示されるため、各自で飛行機や新幹線、や宿泊施設などの手配を行ってください。</p>		項目	費用	委託費	¥8,000 (最大)	保険料	¥1,000	<b>総計</b>	<b>¥9,000</b>
項目	費用									
委託費	¥8,000 (最大)									
保険料	¥1,000									
<b>総計</b>	<b>¥9,000</b>									

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	APM フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	企業調査研究プログラム (METI 選定企業 東日本のケーススタディ) (藤本武士)

	※委託費は、受講人数によっては低くなる可能性があります。											
12. Recommended qualifications knowledge 履修の目安	特になし											
13. Standard of Completion 到達目標	このコースを受講することで次の三つの理解に到達します。 ① 各地域経済圏の社会的文化的や産業構造を理解できる ② グローバル化の意義とそのインパクトを理解できる ③ 各国地域の対象市場での政治的・法的・経済的・社会的な環境要因における共通項や相違点を理解できる。											
14. 授業方法 Teaching Method	ローカル経済とグローバル経済との関係が、各経済圏でどのような特徴を持つのか、どのような経済状況の中で企業の経営がされているのかを RESAS とデジタルライブラリーのデータベースを使って事前調査する。 得られた情報を元にして訪問する企業の過去の V 字回復できた当時の状況や、現在置かれている状況や課題についても議論しグループで仮説を立てる。 実際に経済産業省経済産業局や企業を訪問しヒアリングから仮説を検証する。 訪問企業は、経済産業省から各種受賞選定された企業を中心に訪問ヒアリング調査を行う。例えば、海外売上高が 5%以上のグローバルニッチトップ (Global Niche Top: GNT) 企業やダイバーシティ経営企業・地域未来牽引企業などの優良企業を扱う。 訪問先企業は、日本の経済を理解する上で、今回は名古屋・東京・北海道の経済圏から教員が選択し、ローカル経済とグローバル市場との関係や、対象企業の経営についてヒアリングを通して現在の経済と経営を関連づける。 企業にとって国地域の違う対象市場の顧客や競合他社におけるテーマがグループ素材となるため、それぞれのグループに学生の言語基準や回生が分散するようにグループ分けを行う。											
15. Schedule スケジュール	※ 全て対面で実施します。オンラインでの受講は認められません。 ※但し、派遣が中止になった場合はオンライン代替プログラムを実施します。 ※ 事前授業は、同教員が担当する「企業調査研究プログラム(METI 選定企業 西日本のケーススタディ)」と合同で実施されます。  事前授業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>時限</th> <th>内容</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/29(月)</td> <td>2-5 限</td> <td>各地域経済産業の事前授業</td> <td rowspan="2">APU</td> </tr> <tr> <td>8/30(火)</td> <td>2-5 限</td> <td>各地域経済産業の事前授業・各企業の事前授業</td> </tr> </tbody> </table>	日	時限	内容	場所	8/29(月)	2-5 限	各地域経済産業の事前授業	APU	8/30(火)	2-5 限	各地域経済産業の事前授業・各企業の事前授業
日	時限	内容	場所									
8/29(月)	2-5 限	各地域経済産業の事前授業	APU									
8/30(火)	2-5 限	各地域経済産業の事前授業・各企業の事前授業										

Subject	
AY2011 Curriculum	フィールド・スタディ
AY2017 Curriculum	APM フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター(2022 年度春セメスター時点) *詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	企業調査研究プログラム (METI 選定企業 東日本のケーススタディ) (藤本武士)

	8/31(水)	2-5 限	各企業の事前授業・質問項目の作成・送付	※教室は受講決定後に連絡
	<b>実習</b>			
		日	内容	場所
	9/5(月)		・ 中部経済産業局 訪問&ヒアリング調査	愛知県 (名古屋市)
			・ 株式会社あいや 訪問&ヒアリング調査	愛知県 (西尾市)
	9/6(火)		・ 関東経済産業局 訪問&ヒアリング調査	埼玉県 さいたま市
			・ したのはらプレスサービス株式会社 訪問&ヒアリング調査	千葉県 (船橋市)
	9/7(水)		・ 北海道経済産業局 訪問&ヒアリング調査	北海道 (札幌市)
			・ 株式会社ダイナックス 訪問&ヒアリング調査	北海道 (苫小牧市)
	9/8(木)		・ 合同会社 Outdoor Neighborhood 訪問&ヒアリング調査	北海道 (帯広市)
<b>事後授業</b>				
	日	時限	内容	場所
	9/9(金)	2-4 限	最終プレゼンテーション	北海道 (帯広市)
16. 成績評価方法 Method of Grade Evaluation	5 段階評価( A+, A, B, C, F) ・参加・貢献度:20% ・個人レポート: 40% ・最終グループプレゼンテーション: 40%			
17. Requirements for students. 学生への要望事項	特になし			
18. Textbook /教科書	特になし			
19. Further readings 参考文献	事前授業で配布する			
20. Others / 上記以外	特になし			
21. Notes/その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集人数: 15</li> <li>最少実施人数: 5</li> <li>派遣地域安全情報: 0</li> </ul>			